



# かけはし



第225号 平成27年(2015年) 8月1日(土曜日) 編集発行 宝塚市議会



## 6月定例会の主な審議

宝塚市一般会計補正予算を可決  
救急医療センターの設置に伴い  
市立病院の病床数を変更

宝塚市議会 ホームページ

<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/gikai/index.html>

宝塚市議会



で検索





# ようこそ 宝塚市議会へ



## 本 会 議

**議会運営委員会**  
7人の委員で構成し、本会議の運営など、会議に関する協力を決定します。そのため会期中はいつでも開催できるように常に準備をしています。6月定例会では、4回開催し、本会議の円滑な運営と効率的に議事を進めるための協議を行いました。

なお、議会運営委員会の会議には、議長と副議長も出席しています。

**委員**  
◎田中 こう○大川 裕之  
浅谷 亜紀、江原 和明  
大河内茂太、梶川みさお  
寺本 早苗  
(◎委員長、○副委員長)

市議会議員全員が議場に集まり、市議会としての決定をする、最も重要な会議です。

本会議は、35日程度の期間を決め、年4回開催する定例会(おおむね3月、6月、9月、12月)と、必要に応じて開催する臨時会があります。

臨時会では、開催の要因となった議案等の審議のみを行うこととなりますが、定例会では、議案等の審議以外にも代表質問や一般質問なども行っており、各議員が熱弁をふるっています。

**◆議案の審議** 市議会のものつとも重要な事は議案等を審議し議決を行うことにより、市の意思を決定することです。

市長から提出される議案が多数を占めますが、議員から提出する議案もあります。

すべての議案は最終的には本会議で議決を行うこととなります。

◆代表質問 新年度予算にあわせて出される市長の施政方針の内容を確認し、真意を問います。

◆一般質問 それぞれの議員が、日頃の活動を通じて

にもなりますが、各議案を詳細に審議するためにいったん議案を委員会に渡し、専門的な議論を行い、その内容を本会議で報告すること

課題と考えている事項を様々な視点から問いただします。今行われた6月定例会の一般質問は、8面、13面に掲載されています。

### 特別委員会

2つ以上の常任委員会が担当となるような議案や、重要な議案で1つの委員会だけでは議論では不都合があるような場合は、特別委員会を設置して審議を行います。

毎年、宝塚市議会では、予算特別委員会と決算特別委員会を審議しています。今回の6月定例会で、第5次宝塚市総合計画後期基本計画に関する調査特別委員会を設置し、活動を開始しました。(14面へ)

**総務常任委員会**  
9人の委員で構成し、市の政策や方針、人事管理や庁舎管理、補正予算に関することなどを担当します。

6月定例会では一般会計補正予算などを審議しました。

**委員**  
◎三宅 浩二○大河内茂太  
岩佐 将志、江原 和明  
大川 裕之、梶川みさお  
寺本 早苗 となき正勝  
山本 敬子  
(◎委員長、○副委員長)



**文教生活常任委員会**  
8人の委員で構成し、福祉、教育、病院などに関することを担当します。6月定例会では、介護保険条例や市立病院の病床数の変更などを審議しました。

**委員**  
◎藤岡 和枝○浅谷 亜紀  
井上 聖、北野 聡子  
北山 照昭、田中 こう  
富川晃太郎、若江まさし  
(◎委員長、○副委員長)



**産業建設常任委員会**  
8人の委員で構成し、産業、道路、水道、市営住宅、ごみ政策などに関することを担当します。6月定例会では、都市公園条例や温泉施設の指定管理者などを審議しました。

**委員**  
◎伊藤 順一○たぶち静子  
伊福 義治、大島淡紅子  
たけした正彦、中野 正  
細川 知子、みとみ稔之  
(◎委員長、○副委員長)



**会派代表者会**  
所属政党が同じであったり、同じ考え方や意見を持った議員が集まってグループをつくり、このグループを会派と呼びます。

構成 現在、7つ会派があり、各会派代表者と正副議長の計9人で構成されています。

役割 議会内での会派間の意見調整や、議員活動全般に関する協力をします。また、市の施策や計画等の状況説明を代表して受け、確認することもあります。

**議会改革検討委員会**  
議長、副議長と各会派から選出された委員の計10人で構成されています。

役割 議会基本条例に基づき、継続して議会改革の取り組みを進めていくための検討を行っています。

また、議会基本条例の目的が達成されているかどうか検証を行っています。

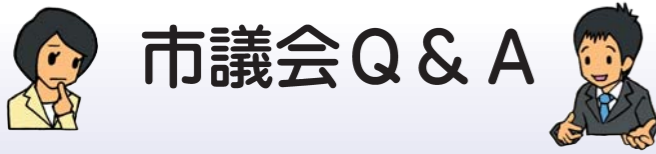
**広報広聴委員会**  
より多くの市民に議会

の活動をお知らせし、議会や市政に関心を持っていただき、ともに誰もが暮らしやすい宝塚市をつくるため広報広聴委員会を設置しています。

構成 各会派から選出の7人の委員で構成されます。

役割 議会報かけはしや市議会ホームページをはじめ、さまざまなツールで議会の広報を行っています。また、市民と議員との意見交換会や議会報告会の開催等では運営の中心になって活動します。

## 市議会Q&A



市議会の役割って何?

市政を進めるうえで、市民全員が直接参加することは困難です。そのため、代表者を選挙で選び、その代表者が集まって構成されるのが市議会です。

議員は何人いるの?

宝塚市の議員数は26人です。そのうち男性議員が17人、女性議員が9人で、女性議員の割合は約35%で阪神間でもトップです。(全国の市議会の平均は13.1%(H25))

「議案」って何?

市長は市政運営のリーダーとして市民の福祉向上のために仕事をしています。そのために必要なルール(条例)やお金(予算)などを提案します。それを「議案」といいます。しかし、市長には議案の決定権はなく、26人で構成する合議制の議会により審議して決定することになります。

議会の会議の様子を見ることはできるの?

議会のすべての会議は原則公開です。傍聴案内は16面へ。

市政に関して要望がある場合は?

市政に対する要望などは、請願や陳情として議会に提出することができます。提出された請願や陳情は議会の中で議論します。請願や陳情の提出方法は14面へ。

# 6月定例会の議案審議から

6月定例会では、市長から提案された議案や、市民の皆さまから提出された請願など計34件について審議しました。

提出された議案は一部を除き、3つの常任委員会（総務・文教生活・産業建設）に付託し、慎重に審査しました。

ここでは、常任委員会で審査された主な議案を報告します。

## 平成27年度宝塚市一般会計補正予算(第1号)

全員一致  
可決

**概要** 平成27年度の一般会計の歳入歳出予算の総額に、それぞれ3億2,832万6千円を増額し、補正後の歳入歳出予算の総額を736億2,832万6千円とするもの。

(歳入予算) 国庫支出金では個人番号カード交付事業費補助金、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金、子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金を、寄附金では一般寄附金及び奨学基金に対する寄附金、繰入金における財政調整基金とりくずしをそれぞれ増額し、債務負担行為の追加及び地方債の補正を行うもの。

(歳出予算) シティプロモーション推進事業、地域児童育成会事業、社会保障・税番号制度個人番号カード交付事業、子育て世帯臨時特例給付金給付事業を増額し、国の補正予算により平成26年度3月補正予算に前倒しで計上していたもののうち、平成27年度当初予算にも計上していた事業費を減額するもの。

**主な質疑** シティプロモーション推進事業については、事業の具体的な内容や先行他市に比べて出遅れたこと、これまでの取り組みについてなどの質疑がありました。

また、本来は補助金が出るからといったものではなく、何年もかけて成果が出るものであり、もっと前から取り組み、市制60周年で花開くべきだった。市は話題作りにとられすぎているなどの意見がありました。

そのほか、社会保障・税番号制度個人番号カード交付事業については、情報管理の安全性についてなどの質疑が、地域児童育成会の待機児童対策としては、ファミリーサポート事業を活用することについて、育成会とファミリーサポート事業の利用上の不公平感や待機児童解消に向けた施設整備について質疑がありました。



全員一致  
可決

## 介護保険条例の一部を改正

- 概要** ①介護保険料新第1段階について、保険料基準額に対する割合（保険料率）を0.5から0.45に軽減し、平成27年4月1日に遡及して適用。  
この軽減措置により、新第1段階の保険料は34,700円から31,200円に軽減。
- ②普通徴収の保険料の減免申請書の提出期限の「納期限7日前まで」を「納期限の日まで」と改正。

**主な質疑** 委員会の審査では、今回改正の介護保険料の減免に関し、国がこれまで示してきた3原則（個別申請により判定、全額免除は行わない、一般会計からの繰り入れは行わない）を見直す方向になったのかという問いに対し、高齢者が増え介護保険料が増大するため、今回、負担の公平化を図る大きな制度改革が行われたが、さらなる保険料の減免については、国の方針は従前どおりとのことでした。

また、今回減免申請書の提出期限を納期限の日までと改正する理由は、との問いに対し、市民の生活状況に合わせたサービスが必要と判断したとのことでした。

全員一致  
可決

## 救急医療センター設置に伴い病床数を変更

**概要** 休床中の3階東病棟を7月から救急医療センターとして再開するため、市立病院の病床数を446床から436床にあらためるもの。

**主な質疑** 委員会では、救急体制についてという論点で審査が進められました。消防本部の救急との連携は向上するのかという問いに対し、高度治療室を新たに設置することから重症者を以前より多く受け入れることができ、消防本部と連携しできるだけ受け入れていくとのことでした。

また、受入困難で断っていたケースを減らす努力が必要では、という問いに対し、来年早々集中治療室に医師を1人確保できる見通しで、受入困難はかなり解消するとみているとのことでした。



救急医療センター（高度治療室）

全員一致  
可決

## 宝塚市都市公園条例を一部改正

**概要** 本議案は、北雲雀きずきの森、中筋2丁目やまぼうし公園、売布自由が丘公園及び梅野第3公園の合計4箇所を新たに都市公園としようとするもの。

**主な質疑** 北雲雀きずきの森については、現状は雑木林のようであるが、どのような公園にする予定か確認したところ、遊具等を設置するのではなく都市緑地として自然環境を保存するとのことでした。また、都市公園にするメリットは、法律や条例が適用され、適正な管理により公共の福祉の増進等に寄与する。具体的には休憩所や公衆トイレが設置可能となることです。また、公園になれば、安全対策は市が責任をもって行うとのことでした。その他に、すべての公園でボール遊びを全面禁止するものではなく、他人の迷惑にならない程度であれば容認される考えであるとのことでした。



北雲雀きずきの森

全員一致  
可決

## ナチュラルスパ宝塚の指定管理者の指定

**概要** 本議案は、平成27年7月1日から平成34年6月30日までの間における市立温泉利用施設（ナチュラルスパ宝塚）の指定管理者として、株式会社linkworksを指定しようとするもの。

**主な質疑** 新たな指定管理者に対して、市としてどのようにチェックや指導を行うのか確認したところ、年1回モニタリングを実施。その他にも日常の業務の中で運営状況を把握し適宜指示を行う。更に定期的な会議を開き報告を求めているとのことでした。また、施設を運営する上で、どのようなことが大切なポイントと考えているのか確認したところ、施設のPRが大きなポイントと考えている。今回、健康増進を前面に出した運営を依頼するが、本市の大きな観光誘客の資源である宝塚温泉をもっとPRしていきたいと考えているとのことでした。



## 賛否が全員一致した議案等

専決処分した事件の承認を求めることについて（2件） （宝塚市市税条例等の一部を改正する条例の制定について、宝塚市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）	承認
平成27年度宝塚市特別会計国民健康保険事業費補正予算(第1号)	可決
平成27年度宝塚市特別会計農業共済事業費補正予算(第1号)	
平成27年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算(第1号)	
平成27年度宝塚市病院事業会計補正予算(第1号)	
宝塚市個人情報保護条例及び宝塚市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	
宝塚市一般事務手数料条例の一部を改正する条例の制定について	
宝塚市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	
宝塚市農業共済条例の一部を改正する条例の制定について	
財産(塵芥収集車(3.5トン積機械車・3トン積機械車))の取得について	
損害賠償の額の決定について	
町の区域の変更について	
市道路線の認定変更について	
特別委員会の設置について	同意
議員の派遣について	
宝塚市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	適任
人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて（2件）	推薦決定
宝塚市農業委員会の委員推薦について	趣旨採択
ヘイト・スピーチに対し法規制する決議を求める事についての請願	採択
豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	



すがいこうぞう  
須貝浩三氏



いのうえてるとし  
井上輝俊氏

特に教育長については、これまで任命された教育委員の中から互選で選ばれていましたが、法律の改正により、本年4月から市長が教育長を直接任命することになり、今回議会として初めて教育長の任命について審議することとなりました。そのため市長に対し適任者であるかを確認するための質疑を行いました。いずれも全員一致で同意しています。

副市長に井上輝俊氏、教育委員や監査委員などの人事には議会の同意が必要です。6月定例会では、市長から副市長の選任と教育長の任命について同意を求める議案が提案され、審議しました。

いずれも議会が同意

副市長に井上輝俊氏  
教育長に須貝浩三氏

意見書名	概要	送付先
農林水産業の輸出促進に向けた施策の拡充を求める意見書	官民一体となった一層の促進策によって、国産農林水産物の輸出拡大につなげるよう国に要望するもの。	内閣総理大臣、農林水産大臣
認知症への取り組みの充実強化に関する意見書	認知症の人と家族を支えるための基本法(仮称)の制定など4項目について適切な措置を国に求めるもの。	内閣総理大臣、厚生労働大臣
地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書	全ての自治体で取り組まれている乳幼児医療の助成制度などに対する国の減額調整措置について、早急に見直しを求めるもの。	内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣
ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書	表現の自由十分に配慮しつつも、ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を検討し実施するよう国に求めるもの。	内閣総理大臣、法務大臣
豊かな教育を実現するための義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育を保証し、未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援していくよう国に求めるもの。	財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

6月定例会では、次の5件の意見書案を全員一致で可決し、関係機関へ送付しました。

意見書を送付しました





子どもをオール宝塚で育む  
ともに生きる市民の会 大島淡紅子

【放課後児童クラブの今後】

問 今年4月、4年生60人が育成会の待機に。来年、6年生まで拡充できるのか。  
答 課題等整理し、可能となれば早急に検討する。

【児童館・子ども館】

問 児童数に比例していない育成会定員は非常に不公平。本来は学校規模の問題。校区再編に向けた地域との協議はいつ始めるのか。  
答 現在教育委員会を基本方針を作ろうとしている。

【幼稚園キッズサポーター】

問 男性の登録はあるか。  
答 現在登録は2名。  
意見 1名は学生と聞いた。

【市立病院の看護職】

問 看護師が定着しにくい原因は。メンタルヘルスケアはどうしているか。  
答 離職理由は個々の事情による。相談は精神看護の専門看護師が行っている。



おもてなしは待ったなし  
安全で誇れる宝塚をつくる会 北山 照昭

【防災対策についての指針】

問 平成21年度から開発ガイドラインに防災対策に関する掲載がされなくなった理由は。  
答 活断層の所在の確認が難しいことや活断層上の構造物に対する技術基準がないことから、開発事業者に適切な指導ができないため、開発ガイドラインに活断層に関する項目は掲載していない。

【公共交通の維持・充実】

問 バス等公共交通は高齢者や障がい者、学生、妊婦等には必要不可欠。利用者が増えれば公共交通を守ることができると。本市は責務を果たしているか。  
答 宝塚市地域公共交通総合連携計画を策定し、市民とともに地域公共交通のあり方の検討に努めている。

【おもてなしの心でトイレをきれいに】  
問 最近の公共のトイレは大変きれいになり、グレイドアップしてきている。トイレを見直す動きなどに対する市の認識は。  
答 本市では多くの市民や観光客が見込まれる主要な場所に公衆トイレを設置し、定期的な維持管理や防犯対策に努めている。今後は、女性の視点を取り入れ、利用者の利便性、快適性の向上を図り、観光客の誘致に寄与する衛生的で快適なトイレ空間の確保に努める。



小学校英語教科化の対応を  
新風改革・維新の会 若江まさし

【英語正式教科化に向けて】

問 2020年度から小学校で英語が正式教科になる。英語が専門でない教員が英語の授業を担当する場合もある。長期的な視点で、教務力の向上計画が必要と考えるか。  
答 本市では、現在の小学校外国語活動が導入される2年前から外国語活動の指導力向上研修や外国語の研修を実施。今後も研修体

【公有財産の有効活用】

問 宝塚ガーデンフィールズとNTN宝塚製作所の跡地開発が基本構想に沿って進んでいる。市民はどうか。  
意見 旧宝塚ガーデンフィールズにあったドッグランを再びつくりたいかとの声がある。将来的に公有財産利活用の方向性の中で、市民の声を検討してほしい。



路線バス利用者増の施策を  
ともに生きる市民の会 梶川みさお

【宝塚市の防災】

問 地区防災計画の策定をコミュニティなどに求めるなら、物資の提供など地域にとってのメリットが必ずあるか。  
答 地区防災計画を策定し物資等が必要となれば、予算を確保し支援したい。  
意見 丁寧に対応できる職員体制と予算の確保が必要。

【宝塚市の防災】  
問 地区防災計画の策定をコミュニティなどに求めるなら、物資の提供など地域にとってのメリットが必ずあるか。  
答 地区防災計画を策定し物資等が必要となれば、予算を確保し支援したい。  
意見 丁寧に対応できる職員体制と予算の確保が必要。



## 「健康づくり」の推進を

自民党議員団 富川晃太郎

### 【国民健康保険事業の累積赤字解消について】

問 国民健康保険事業の広域化までに14億5千万円の累積赤字をどのように解消するのか。

答 起債による財源措置を要望しているが、国の対応は把握できていない。起債などの財源措置が認められないことが判明した場合、その時期により選択肢が違ってくるが、一般会計から

の繰り入れも必要になってくるのではないかと考える。

意見 累積赤字の解消に際し、将来の被保険者に負担を求めるときではない。

### 【健康づくりへの取り組み】

問 市として健康づくりのために取り組んできた事業の成果は。

答 特定健康診査の受診率は未受診者への個別通知などにより微増傾向にある。また、がん検診の受診率も

無料クーポン券や受診の再勧奨により向上している。

問 健康と適度な運動は密接な関係があると思うが、スポーツを活用した取り組みの現状は。

答 市立スポーツセンターでは健康教室として、60歳以上を対象とした運動不足解消のための運動教室のほか、幼児を対象とした運動教室を開催している。

意見 健康づくりをすることによって医療費等が抑制され、その結果として国民健康保険財政、介護保険財政の健全化に寄与する。



## 市民のいのちとくらしを守る

日本共産党 宝塚市会議員団 田中 こう

### 【生活困窮者自立支援制度】

問 自治体の役割は。

答 せいかつ応援センターを設置し、相談者の状況を包括的に把握。自立支援プランを作成し、必要なサービスにつなぐとともに、就労支援なども行う。

### 【生活保護制度改悪に反対】

問 就学援助、住民税非課税基準、年金、最低賃金、各種減免等国民生活の最低基準の土台となる生活保護

制度の改悪に対する見解は。

答 国が5年に一度の検証により基準を見直したが、生活保護世帯の生活への影響は大きい。必要があれば、実態に即した生活保護基準の見直しを国に要望する。

### 【滞納整理と生活再建】

問 滞納の背景にはさまざまな要因がある。一時的な解決策ではなく、生活再建の取り組みを。

答 滞納原因や生活状況等を十分に聞き、納税が困難な場合は分割での納付等をお願いする。また、状況に応じて、滞納処分を行う。停止や延滞金の減免を行う。

### 【学校給食費無料化を】

問 家庭の経済状況に関わらず、栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することは子どもの成長に重要。学校給食の無料化を。

答 義務教育費の保護者の負担は少なくなるべきである。学校教育の一環である学校給食は保護者の理解のもと負担いただいております。給食費無料化等は検討課題。



## 観光を地方創生の中心に

自民党議員団 山本 敬子

### 【仮称宝塚サービスエリア】

問 テナントの運営事業者が決定したが、サービスエリア事業の構想は。

答 宝塚地域の優雅なイメージにふさわしい上質感のある空間がコンセプト。運営事業者と緊密に連絡し、宝塚らしさを感じてもらえる運営となるようにしたい。

問 地域住民の雇用や本市活性化への寄与を市民は期待している。市の方針は。

答 NEXCO西日本やテナント運営事業者と緊密に連絡し、本市の地域資源や観光のPR等を進める。

問 宝塚と言えば歌劇を思い浮かべるが、宝塚らしさをどう要望していくのか。

答 市の思いはNEXCOに伝えているが、今後も運営事業者に伝えていく。

問 宝塚市総合戦略策定事業など9事業を実施。総合戦略の策定に当たっては、本市総合計画後期基本計画との整合性を図りながら行う。

意見 宝塚市の特性ある観光戦略を、地方創生の取り組みの中心に置いて進めたい。

### 【観光・産業について】

問 地方創生事業を活用した市内企業の拡大及び販路拡大支援策は。

答 地方創生交付金を活用して市内事業者の積極的な活動に要する費用の一部を補助することにより、本市経済の活性化、市内での雇用の安定、創出を図る。

問 モノ・コト・宝塚以前の「多くの宝」をどのように活用してきたのか。

答 宝塚歌劇等の既存の観光資源については過去からいろいろな観光振興策を実施してきた。その成果が年間800万人を超える観光客だと考えている。

問 モノ・コト・宝塚に費用をかけるのであれば、マーケティングやコミュニケーションデザイナーの専門家を招聘して、既存の宝のブラッシュアップや、継続的な支援を依頼してはどうか。

答 モノ・コト・宝塚の選定については、懇話会を設置して各種の専門委員も審議に加わっている。その中でマーケティングについてもアドバイザーを受けている。

問 元気な高齢者力の活用

問 元気な高齢者だからこそできることがたくさんあると思うが。

答 高齢者を含め本市の市民力は高い。元気な高齢者にとって、より一層住みやすい地域社会づくりを市民と協働で進めていけたらという思いで頑張っている。



## 既存コンテンツを生かして

新風改革・維新の会 岩佐 将志

### 【観光・産業について】

問 地方創生事業を活用した市内企業の拡大及び販路拡大支援策は。

答 地方創生交付金を活用して市内事業者の積極的な活動に要する費用の一部を補助することにより、本市経済の活性化、市内での雇用の安定、創出を図る。

問 モノ・コト・宝塚以前の「多くの宝」をどのように活用してきたのか。

答 宝塚歌劇等の既存の観光資源については過去からいろいろな観光振興策を実施してきた。その成果が年間800万人を超える観光客だと考えている。

問 モノ・コト・宝塚に費用をかけるのであれば、マーケティングやコミュニケーションデザイナーの専門家を招聘して、既存の宝のブラッシュアップや、継続的な支援を依頼してはどうか。

答 モノ・コト・宝塚の選定については、懇話会を設置して各種の専門委員も審議に加わっている。その中でマーケティングについてもアドバイザーを受けている。

問 元気な高齢者力の活用

問 元気な高齢者だからこそできることがたくさんあると思うが。





## 市立病院に無料送迎バスを

公明党議員団 中野 正

### 【防犯カメラ設置】

問 設置補助による防犯カメラの設置数の伸び悩みから、市が設置主体となり管理することに方針転換した市もある。本市の考えは。

答 今年度も補助金の手配の20台に満たず、大きな課題が残っている。防犯カメラの設置が全ての安全・安心を確保できる手段ではないが、大きな役割と効果を持つと認識している。事

### 【当日の投票区外投票】

問 投票率の向上のため、国でも法改正を視野に当日の投票区外投票等を検討中。改正後は市でも取り組みを。

答 進む高齢化と、投票率の向上という課題に対し、有効な手段であれば、積極的に活用していきたい。

### 【武庫川河岸の維持管理】

問 県のアドプト制度で

武庫川左岸の維持管理を地域ボランティアが担っているが、限界だとの声がある。

答 活動が負担になるとは制度の趣旨と相入れない。地域の方々が自主的に行動できるように、活動範囲や内容を見直していきたい。

### 【市立病院無料送迎バス】

問 患者増のため、無料送迎バスを実施してはどうか。実施した市の状況から、バスの効果は明らかだが。

答 既存バス路線との競合もあるが、利用者の負担やバス停が遠いとの意見もあり、前向きに検討したい。



## 選挙における費用対効果

新風改革・維新の会 たけした正彦

### 【選挙全般の方向性】

問 公職選挙法の解釈は不明確で難しい。選挙運動ツールや様式など、活動の制限があった方が市民にも分かりやすい。法に沿った市の判断基準が欲しいが。

答 個々の活動が公職選挙法に抵触するかどうかは内容、時期、方法等の態様を総合的に勘案し、個々具体的に判断が必要と考える。

問 18歳から有権者となるが、具体的な啓発内容は。答 新有権者向け冊子を市内の高校の生徒に配布、また今年には中学校の生徒会選挙を公職選挙法に準じ体験してもらい、選挙への関心を高める企画をしている。

### 【2015年問題】

問 今年団塊の世代が65歳を迎える。若い世代の転出を防ぐ抑止力ある政策を。

答 定住人口の増加、働く世代の人口流入、定住化促進等が必要と考えている。



## 戦略は目標設定が肝

新風改革・維新の会 大川 裕之

### 【地方版総合戦略の策定】

問 戦略とは目標達成のためのプロセスであり、目標設定こそが肝。しかし、国の総合戦略を勘案して策定することや、国が手引を用意していることが、地方自ら考え目標設定すること

を妨げている。本市はどのように目標設定するのか。答 基本的には、国の基本目標に沿って策定するが、国提供の地域経済分析シス

### 【宝塚プレミアム・すみれ商品券販売の今後の展開】

問 地域経済活性化の呼び水としての本事業を確かな成果とし、今後の戦略策定に生かす取り組みは。

答 アンケート調査等から商品券の消費拡大への影響等を測定し市民の消費行動を把握することで、今後の商工振興策に生かしたい。



## 宝塚ホテルは市の文化資産

市民ネット宝塚 寺本 早苗

### 【自転車専用レーン】

問 設置され4カ月が過ぎたが、利用状況の検証は。答 県の調査では、バイクの通行、車両駐車及び自転車の逆走が時折みられるが、おおむね適正に利用されている。

意見 かえって事故の可能性を危惧する声も。警察と連携し、自転車の正しい乗り方を学ぶ機会のない人への啓発に努めよ。自転

### 【宝塚ホテル移転の影響】

問 宝塚大劇場西駐車場への移転に伴う影響は。答 移転先では景観や周辺道路への影響等が、跡地は商業、観光への影響等が想定される。現在、庁内協議で情報共有を図っており、

市全体で対応策を検討し、時期を逃さず開発事業者と協議し適切に対応していく。意見 市の文化的資産で

### 【交通広場リニューアル】

問 子どもたちが遊び、若者が語らう場でもある広場の改修は、彼らの声を聴くべきと再三主張してきた。どのように意見集約したか。

答 地元協議や自治会経由で保護者から聴取し、子どもの視点も入れ再検討。迷路模様の舗装や自然石を再利用したベンチを配置、デザインは子どもや若者から意見を聴く機会を設ける。



市民ネット宝塚 北野 聡子

### あるがままの存在を認める

#### 【性的マイノリティ支援】

問 性的マイノリティの方は生き方に肯定感を持っていないという実情がある。自殺未遂リスクも高いが、当事者支援の市の取り組みは。

答 庁内に検討部会を充足し、問題理解のための職員研修も始めている。10月を目標に基本方針をとりまとめ、具体的な取り組みを一つ一つ増やしていきたい。

問 市営住宅申込、パーク

#### 【学校給食の公会計化】

問 私会計では自転車操

業的な状況や、未納督促による子どもへの悪影響など問題が多い。公会計導入後の督促手段は。

答 検討会で、システムによる督促状況など、実務運用の具体的検討を進める。

意見 督促状は市が直接郵送し、学校で子どもに手渡す等は絶対すべきでない。

#### 【長尾小学校体育館】

問 出入り口が1カ所しかないので大変危険。最優先で建て替えるべきではないか、状況を精査し、急ぐものから整備していく。



新風改革・維新の会 浅谷 亜紀

### 70歳現役社会の実現へ

#### 【高齢者施策の充実を】

問 エイジフレンドリーシティの実現に向けた今後の取組体制は。

答 23課が関わる庁内推進検討会で全庁的に議論中。

問 生涯学習の充実に関して、公民館講座の受講者自身が身近な地域で学習会や活動を主体的に展開するための具体策は。

答 関係機関の連携等を図るため、職員育成に向け

はないが、全国的に展開しているシステムであるため、逆にフォロワーも期待できる。

意見 最終的に情報が流れない場合の対策の検討を。

#### 【宝塚プレミアム・すみれ商品券】

問 販売に関する混乱後、一連の市の対応は適切か。

答 市は商店連合会と緊急協議し、商店連合会の判断で抽選方法へ変更を決定。混乱の收拾に向け、限られた時間の中で最大限努力した。意見 市民の混乱に対する危機管理意識が不足。全庁的に高められる体制を。



自民党議員団 大河内茂太

### 公平・公正な教科書採択を

#### 【市立中学校教科書選定】

問 文科省が業者の教員宅訪問等、行き過ぎた宣伝行為を教科書会社に禁じる異例の指導をしているが、本市の状況は。

答 現在、本市では問題となる宣伝行為はない。

問 教育委員会の最終採択の議論が形骸化している。教育委員が十分に教科書見本を吟味できる対策は。

答 教育委員会室に見本

を常備。必要に応じ持ち帰れるよう対応している。

#### 【性的マイノリティ支援】

問 市長は同性婚立法実現のため、まずは本市で条例化をめざしているが、本市で同性カップルが同居や病院面会を断られるなどの不利益が生じているのか。

答 現時点で不利益は把握していない。

問 スペインでは男女婚姻率が同性婚を認めてから

9年間で36%下落した。家庭社会に大きな影響を及ぼすため慎重な議論が必要。検討部会では反対意見も聞くなど、バランスよく進めたいか。

答 専門家の意見も聞きながら慎重に検討したい。

#### 【阪神シニアアカレツジ誘致】

問 早い段階で県から強い要請を受けていたが、市がアクションを起こさないのはなぜか。

答 NTN跡地への誘致は、実現に向けて克服すべき課題が多いと認識しており、県と協議を進めている。



公明党議員団 藤岡 和枝

### 未来の宝塚の教育の充実を

#### 【地域包括ケアシステム】

問 新しい総合支援事業について、進捗状況を見える化し、市民への周知・広報に努めるべきでは。

答 地域包括ケアシステムのポイントは地域づくりであり、情報発信は重要。他市の例も参考に検討する。

【安心して子育てができる環境整備】

問 妊娠段階から出産、育児まで、継続的に子育て

を支援する日本版ネウボラへの積極的な取り組みは。

答 国のモデル事業の実施自治体を参考に、切れ目のない支援の充実を検討。

#### 【宝塚の教育が未来に向か

つてめざす方向性】

問 コミュニティ・スクール導入の取り組みは。

答 学校支援地域本部事業で実行委員会を設置。CSマイスターによる研修会開催など、ともに学び、導

入の取り組みを進めたい。

問 幼児教育センター設置に向けての方向性は。

答 保幼小中連携や研究実践などを推進するため、できるだけ早期の設置に向け具体的な協議を進める。

問 新しい時代にあふわしい教育についての理念は。

答 真に生きる力を育むことが大切。将来、社会の一員として自立できる子どもの育成に努める。

意見 地方創生の肝は教育。未来を見据えて、独自の教育の方向性を指し示し、明日の宝塚の教育の充実を。





## 計画的な道路環境の維持を

公明党議員団 二二七 浩一

### 【道路行政】

問 本市は道路の状態が悪く、市民から苦情が絶えない。計画的改修で良好な道路環境を維持できるはず。

答 都市計画道路等は、舗装のひび割れ率や平坦性などの調査を済ませ、修繕の優先順位を決定し、順次補修を実施。生活道路は自治会の要望や住民からの通報を受け、現地確認の上補修を行っている。

意見 舗装は10〜20年もつ。まずは、改修されていない市道の調査を。

### 【救急医療連携の充実】

問 救急医療センターが7月に開設、市立病院は救急患者の受け入れがスムーズになる。消防本部から救急搬送に期待できることは。

答 市立病院は市内での救急搬送の半分を占め、救急病院としての中心的な役割を担っている。効果的な

連携が進めば、救急患者の増を図れると期待している。

### 【粗大ごみ回収】

問 粗大ごみ回収は電話での予約制のため耳が遠い高齢者などは予約が困難。市民すべてが利用できる仕組みになっているのか。

答 対応できない方が増えており、ケアマネジャー等の助けも得て、本人の意思を確認しながら申し込みいただいている。  
意見 高齢者にとつてきずな収集は有効。普及には広報だけでなく介護従事者への協力依頼も必要。



## 利用者の意に沿った介護を

日本共産党 宝塚市議員団 となき正勝

### 【介護保険制度の改善】

問 保険料は過去最高の値上げ幅となり利用料も2割負担の方が増加、利用者への負担軽減が必要である。

答 市の一般財源を投入し負担軽減を図ることは、社会保険方式の趣旨から認められない。  
問 社会保険方式の介護保険制度とは別枠で、国県市の負担で公費投入を行うのが今回の措置ではないか。

答 社会保険の財源を補充するため、公費の投入は従前から行われてはいる。  
意見 介護保険に一般財源を投入し、負担軽減を図る自治体もある。検討を。

問 特養老人ホームの入居は要介護3以上。要介護1・2の待機者への対応は。  
答 本年8月に定員100名の特養施設を開設。待機状況を勘案し必要に応じ新たな事業者公募を実施。

意見 必要と判断された方は入居できるよう整備を。

### 【NTN(株)跡地開発】

問 マンションや店舗建設が進めば更なる交通渋滞が予測される。安全対策は。  
答 県道は幅員を拡幅する。横断歩道や信号機の設置は、事業者が県と協議。

問 信号設置で大きく状況が変わるが、検証したか。  
答 市役所前交差点の交通飽和度や市が設置する施設からみて、交差点の渋滞は特段の影響がない。  
意見 これからの変化に伴い十分な対策の検討を。



## 西谷地域のインフラ整備を

日本共産党 宝塚市議員団 たぶち静子

### 【安全・安心なまちづくり】

問 倒壊のおそれがある空き家が撤去されない原因として、解体費用や撤去後に固定資産税が6倍になる負担の問題があるのでは。

答 空き家対策特別措置法により勧告対象となった空き家に係る土地は、住宅用地の特例から除外可能となった。法に基づき計画し、体制を整えば実施したい。  
問 自転車の事故が増加

し、危険運転等に講習が義務化。今後の取り組みは。

答 学校園等で警察が保護者対象に講和を実施。市も中高生等や自転車利用が多い年齢層、事故多発地域等を重点に、学校や地域と連携し啓発指導を強化する。

### 【西谷地域の生活環境整備】

問 昨年道路凍結による死亡事故が発生。事故後の凍結防止剤散布の対応は。

答 事故現場には当然散

布しており、気象情報や現場状況を確認し、担当者により判断して散布している。  
意見 地元住民が一番適切な判断ができるのでは。

### 【防災】

問 消防団は災害時西谷地域にはなくてはならない存在。今後も消防本部との合同訓練等は実施するのか。  
答 消防団と消防本部は密接な関係。今後も実効性が高い消防団活動ができるような取り組みを行う。

意見 西谷地域の活性化は、安全な道路、通学手段、公共交通、汚水処理の負担軽減、防災対策等が大前提。



## 住民自治組織の関係整理を

安全で誇れる宝塚をつくる会 細川 知子

### 【住民自治組織】

問 住民自治組織のあり方に関する調査専門委員の進捗と報告書の取り扱いは。  
答 現在、専門委員により各住民自治組織へヒアリングを行い、検討を重ねている。専門委員からの報告を尊重し、よりよい住民自治の推進に向け取り組み。

【協働での防災の取り組み】  
問 地区防災計画策定地域への経済支援の考え方は。

答 地区防災計画策定に伴う防災活動の活性化を期待。現時点で経済支援はなく、今後の地区防災計画の策定状況を考慮し、活動支援のあり方を検討していく。

【環境美化の取り組み】  
問 地域に配付されるごみ収集のカレンダーは、同じ時期に2種類届く。無駄を省き、使いやすい工夫を。

答 内容や表現方法等使

問 宝塚を美しくする市民運動を共催する環境保健衛生推進協議会の構成と、市の委託事業の内容は。  
答 自治会連合会所属自治会で組織。市民一斉清掃を含む環境美化推進業務を90万円で委託。事業実施により委託料を超えた額は同協議会の自己資金で賄う。

意見 同協議会所属の自治会は昨年の185団体から118団体に減少。一斉清掃は、同協議会未加入団体の方が120と多く参加。委託を見直し、多くの団体が参加しやすい体制を。



## 平和メッセージの発信を

日本共産党  
宝塚市議員団

みとみ稔之

### 【平和施策の意義と目的】

問 本市における平和施策の意義は。

答 本市は核兵器廃絶平和推進基本条例を制定して

いる。平和は人権の礎であり、市民の生命や暮らしを守ることを基本に人権尊重のまちづくりをめざすもの。戦後70年の終戦記念日に平和祈念式典が予定されている。集会の成功が内外への大きなメッセージと

なるが、市民への周知は。

答 節目の年であり、さら

に平和の大切さや命の尊さへの認識を高める。市民の皆様とともに検討会を設け、企画・PRに努める。意見 手塚治虫さんは作品を通して平和や人権の大切さを訴えている。本市もメッセージの発信が大切。

【視覚障がい者用点字ブロックの状況】

問 本市独自のガイドラ

インとその状況は。

答 公園や道路上に設置

する場合の基準を条例で定めている。点字ブロックは、正確な歩行位置と方向を示す施設だが、でこぼこがあり、つまずいたり車いす等の通行の妨げになることや、点字ブロック上に自転車や駐輪し視覚障がいのある方が接触する事故が指摘されており対策が必要。

意見 駐輪対策は撤去だけでは足りない。障がいのある方が歩くための目印となる場所に、自転車置き場がないよう啓発をお願いしたい。



## 障がい者差別解消に向けて

ともに生きる市民の会 井上 聖

### 【障害者差別解消条例】

問 条例制定に向けたスケジュールは。

答 関係者による障がい

者差別についての意見交換の場を設置し、社会福祉審議会でも条例案について議論した上で、来年6月ぐらいには答申を得たい。予定として、条例案はパブリックコメントを経て来年12月には市議会に提出し、平成29年1月に施行。場合によ

ては一部に周知期間を設け

7月から完全施行したい。

問 当事者及び家族の参加は。

答 審議会に小委員会を

設け、障がい者団体の委員から意見をいただくほか、意見交換の場において当事者及びその家族から意見をいただきたいと考えている。意見 障がい者施策の担当課を設置し、障がい者を含む専門職を配置するべき。

### 【手話言語条例】

問 現在18の自治体で手

話言語条例が制定されているが、条例制定に向けた市の考えは。

答 条例制定は、本市の

障がい者施策長期計画推進計画の基本的理念である、誰もが豊かに暮らす共生社会の構築に向けての取り組みの一つとして意義があると認識している。現在、関係団体と手話を中心とするコミュニケーション条例の制定について意見交換をしており、可能であれば来年4月の施行をめざしたい。



## 声なき市民の声を市政に

新風改革・維新の会

伊藤 順一

### 【渋滞のない道路づくり】

問 武庫川による市域分

断が原因の渋滞解消に向けて第5の橋の計画があるが、いつ工事が始まるのか。

マジョリティーの意見を市政に反映するために、市民

委員を無作為抽出にしては

答 市民委員の無作為抽出は市民参加のすそ野を広げる仕組み。第5次総合計画審議会でも導入に向けた検討を行っている。

### 【地域エネルギー政策】

問 我が市の地域エネル

ギーのあり方は。

答 地球温暖化対策を初め、省エネルギー、創エネ

ルギーを推進し、市民や事業者主体の持続可能な地域エネルギー事業をめざす。

### 【情報化計画の策定】

問 情報化推進本部と情

報化推進委員会が設置され、ようやく体制が整った。市民生活の利便性、快適性の向上を期待するが、まず情報化計画の策定が必要では。答 ICTの利用が便利で豊かな市民生活に不可欠となっていることから、市のあらゆる業務でICTの活用を進めるため、総合的な計画となる宝塚市ICT戦略を本年度中に策定する。



## 適正規模に沿う通学区域を

公明党議員団 江原 和明

### 【宝塚市通学区域審議会】

問 同審議会は10年以上、

未開催ではないか。

答 平成5年に山手台小

・中学校開校に伴う審議を行って以降、開催はない。問 国基準に照らすと市内小中学校の規模は適正か。答 国が示す適正規模の学校は、小学校が24校中9校、中学校が12校中7校。

開かれなかったのは問題だ。

答 学校規模の格差解消

は大きな課題。子どもの教育環境を最善にする視点を

第一に、審議会開催も含め

手順を決めていきたい。

### 【特例市廃止と今後】

問 本年4月1日に特例

市制度が廃止、中核市の人

口要件が20万人以上に緩和

本市は中核市移行するのか。

答 現在、中核市移行に関する庁内検討会設置を準備している。今後、権限移譲される事務の内容や規模を明確にし、業務に必要な職種と職員数、財政負担等を調査し、慎重に検討する。

### 【ゲリラ豪雨対策】

問 昨年8月のゲリラ豪

雨で西宮市域の古川樋門の開放が不十分であったため、市道鹿塩蔵人線が広範囲に冠水した。その後の対応は。

答 西宮市、本市及び樋

門を利用する水利組合の三者で樋門操作の基準を確認し、緊急連絡体制を整えた。

また、緊急時は本市でも樋

門の開門操作を可能にした。





# 宝塚市の議会改革

## 宝塚市議会基本条例

宝塚市議会の最高規範として制定されたもので、議会は、市民との活発な意見交換等多様な市民参加並びに議員間の自由討議を推進し、議会改革に取り組むとともに、公正性・透明性及び独自性を確保し、さらなる市民に開かれた議会運営を行うと定めています。

## 議会運営の変更点

議会基本条例制定後は、議会の重要な役割である議案の審議を優先して行い、委員会での審査は議案の説明と実質の審査の2日間に分けて実施しています。

なお、委員間の自由討議を行い、各委員の考えを明確にするとともに、委員会審査の概略を記した委員会報告書を作成し、本会議において配付しています。

## 議会報告会

公民館等市内公共施設を会場として、全議員がグループに分かれて、議会の活動を市民の皆様にお知らせしています。



## 政策研究会

市議会では、必要に応じて政策研究会を設置し、「歌劇のまち宝塚条例」の原案作成や「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる宝塚づくり研究会政策提言」の提出などを行っています。

## 意見交換会

市民の皆様の意見を直接お聞きし、議員と意見交換をする意見交換会を開催しています。

今年は8月30日(日)午後2時から、市立男女共同参画センターで開催します。是非お越しください。



(前回実施の様子)

## 市議会60周年記念シンポジウム開催

本年1月に市議会60周年を記念して、シンポジウムを開催しました。引き続き市民と共に歩む市議会をめざして取り組みます。



## 記念誌発刊

市議会60周年記念誌「歌劇のまちの議会改革」を発刊しました。近年の市議会を取り巻く状況や議会改革の動きについて記録しています。

市議会事務局総務課のほか、キャットプ書店逆瀬川店、宝塚書店、ブックランドサンクス宝塚ソリオ店で好評販売中です。(税込み1500円)



宝塚市議会は引き続き議会改革に取り組みます。

## 市議会報リニューアル

市民の皆様と市議会をつなぐための情報の提供ツールとして市内全戸に「市議会報かけはし」を配布しています。

よりわかりやすく、市民の皆様に関心を持っていただけるよう、誌面をリニューアルしてきました。今後皆様にも親しんでいただける誌面をめざして取り組みます。



# 意見交換会を開催!

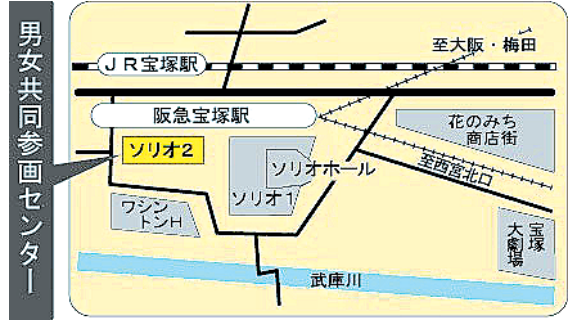
4つのテーマで市民発言者と議員が意見交換します

- 日時** 平成27年8月30日(日) 午後2時～4時  
(開場:午後1時30分)
- 場所** 男女共同参画センター 学習交流室1 A・B
- テーマ**
- ◆ 社会保障について
  - ◆ 安全安心のまちづくりについて
  - ◆ まちの活性化について
  - ◆ 子育て・教育について

**傍聴** 申し込み不要です。ぜひ直接会場にお越しください!  
※手話通訳、要約筆記、一時保育が必要な方は、8月20日(木)までにお知らせください。

**問い合わせ** 議会事務局 議事調査課 TEL 0797-77-2168 FAX 0797-74-6902  
E-Mail m-takarazuka0178@city.takarazuka.lg.jp

8月20日(木)まで  
市民発言者を追加募集!  
詳しくは議会事務局まで



栄町2丁目1-2「ソリオ2」4階

男女共同参画センター

## FM放送・インターネット・Facebook

- ◆ **FM宝塚 83.5MHz**  
毎週2回(月・木)12時25分から5分間、市議会の話題をお知らせしています。各議員の一般質問(録音)や、議長インタビューなども放送しています。放送予定は、市議会ホームページでご確認ください。
- ◆ **インターネット**  
市議会ホームページでは、会議日程や議案審査の結果、本会議の映像(インターネット中継・録画配信)等をご覧いただけます。本会議や委員会の会議録検索もできます。
- ◆ **Facebook**  
本会議や委員会の開催日程のほか、議会報告会や意見交換会など市議会主催イベント等の情報をお知らせしています。

宝塚市議会 で検索



## 傍聴について

市議会の本会議や委員会には一般に公開されており、受付簿に氏名などをご記入いただくだけで、どなたでも傍聴いただけます。議員の活動や市政の動向等を知る機会でもありますので、ぜひ傍聴にお越しください。

- **本会議場**  
傍聴席は84席(内、車いす席2席、磁気ループ席26席)。介助犬の同伴も可能です。
- **委員会室**  
傍聴席は10席程度。満席の場合は、音声情報のみを提供している別室にご案内することがあります。
- **手話通訳・要約筆記**  
手話通訳者や要約筆記者の介助を希望される場合は、「宝塚市(手話通訳者・要約筆記者)派遣申込書」を障害福祉課へFAXしていただくか、もしくは窓口へお申し出ください。
- TEL 0797-77-1207  
FAX 0797-77-1808

10月							9月															
28日	27日	26日	23日	22日	8日	7日	6日	2日	1日	30日	29日	28日	15日	14日	11日	10日	9日	8日	7日	3日	2日	
水	火	月	金	木	木	水	火	金	木	水	火	月	火	月	金	木	水	火	月	木	水	
決算特別委員会(総括)		決算特別委員会			本会議(予備日)	本会議	議会運営委員会	一般質問(予備日)		一般質問		議会運営委員会	常任委員会②(予備日)		常任委員会②			常任委員会①	常任委員会協議会		本会議	議会運営委員会

## 9月定例会等の日程

議会報「かけはし」は、すべての世帯と事業所のポストに宅配でお届けしています。発行日を過ぎても届かない場合は、ご連絡ください。

ジャパンメッセージャーサービス(株)  
フリーダイヤル  
0120-24-0324  
(9時～19時まで)

※宝塚市議会報「かけはし」は、年4回発行しています。次号は、平成27年12月1日発行予定です。

◆宝塚市議会のしくみと新体制について、おわかりいただけただでしょうか。次号からはもっと魅力的な写真でお届けします(笑)ワタシ的には2年ぶりに関わる広報広聴委員会。「かけはし」の充実、そして議会の発信力と受信力アップに努めてまいります。(寺本)

◆この4月に初めて市議に当選し、瞬く間に6月定例会を迎えました。無我夢中で一般質問を終えた時、一人でも多くの方に真剣な議論の様子を知っていただきたいと思いました。この一年間、その大切な手段の一つとして、わかりやすい誌面を目指したいと思えます。(細川)

## 編集後記